

令和4年度学術委員会活動報告

令和5年5月25日

国臨協関信支部学術委員会

1. 活動報告

学術委員会は部門長兼任とする委員長1名、副委員長1名、部門長5名、部門員16名により、8つの検査部門にて構成される。令和4年度においては、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑みつつ、Web会議ツールを活用しながら国臨協関信支部学術委員規程第4条（事業）に則り、会員の学術と技術の向上を図る活動を行った。活動内容の詳細については、「3.学術委員会活動報告」をご参照いただきたい。

2. 学術委員会（検査部門）構成

➤ 委員長

芦川 晋（NHO 信州上田医療センター） ※ 生理検査部門長 兼任

➤ 副委員長

小林 真二（NHO 横浜医療センター） ※ 検体検査部門長 兼任

➤ 検体検査部門

1) 生化学検査 / 血清検査

小林 真二 部門長（NHO 横浜医療センター）

石川 政志 部門員（NHO 東京医療センター）

2) 一般検査 / 血液検査

秋江 健太 部門員（国立がん研究センター東病院） ※ 血液検査 兼任

3) 血液検査

吉村 咲子 部門員（NHO 東京医療センター）

秋江 健太 部門員（国立がん研究センター東病院）

➤ 輸血検査部門

平木 三穂 部門長（NHO 埼玉病院）

竹内 紗耶香 部門員（国立がん研究センター中央病院）

上杉 弘尚 部門員（NHO 渋川医療センター）

➤ 微生物検査部門

加藤 維斗 部門長（NHO 東京医療センター）

香川 成人 部門員（国立成育医療研究センター）

➤ 病理検査部門

池上 陽太 部門長（国立成育医療研究センター）

我妻 美由紀 部門員（NHO 東京病院）

浅川 和也 部門員 (NHO まつもと医療センター)
時田 和也 部門員 (国立がん研究センター中央病院)

➤ 生理検査部門

芦川 晋 部門長 (NHO 信州上田医療センター)
白倉 聡 部門員 (NHO 渋川医療センター)
品田 祐希 部門員 (NHO 相模原病院)

3. 学術委員会活動報告

1) 国臨協関信支部学会について

テーマ「未来への跳躍～過去から学び未来へつなぐ～」

開催日：令和4年9月3日(土) ライブ配信

開催方法：Web形式学会 (EventIn：V-CUBE社) ※ オンデマンド配信は行わない

学会長：吉田 茂久 (NHO 横浜医療センター)

(1) 学会賞 (学術奨励賞、学会特別賞、新人賞) の選考

学術委員会から選出された委員により、国臨協関信支部表彰規程第4条 (選考) に基づき選考した。また、支部ニュース第230号 (令和4年11月発行) にて学術委員会副委員長による各賞の選考結果及び選考理由の報告、および関連記事の掲載を行った。

- ① 学術委員会の部門員15名が学会抄録28題の査読を行い、10項目5段階 (加点評価方法) で1次選考を実施した。
- ② 学会賞選考委員 (5名) を組織し、1次選考の結果を踏まえて、学術奨励賞候補、学会特別賞候補、新人賞候補を選出した。
- ③ 2次選考の結果をもとに学会賞選考委員でスライド内容について6項目を評価し、Web会議での最終選考委員会 (令和4年9月6日開催) にて各賞の受賞者を減点/加点評価方法で選出し、第50回国臨協関信支部記念学会学会長に答申を行った。

【学会賞選考委員会メンバー】

- 委員長：芦川 晋 学術委員会委員長 (NHO 信州上田医療センター)
- 副委員長：小林 真二 部門長 (NHO 横浜医療センター)
- 委員：平木 三穂 部門長 (NHO 埼玉病院)
- 委員：香川 成人 部門員 (国立成育医療研究センター)
- 関信支部：椎名 将昭 国臨協関信支部学術担当副支部長
(NHO 水戸医療センター)

【各学会賞の受賞者】

- 学術奨励賞：「血液培養陽性液を用いた直接 mCIM 法の検討」
角田 雅治 氏（NHO 東京医療センター）
- 学会特別賞：「該当演題なし」
- 学会新人賞：「弾発指患者における腱鞘ガングリオンの保有率と関節超音波検査の有用性について」
藤川 穂香 氏（NHO 渋川医療センター）

(2) 学会運営の協力

本学会において学会企画分科会「皆どうやって出してる？描出が難しい臓器！ライブデモンストラーション・腹部超音波」をライブ配信にて開催した。

講 師：芦川 晋 生理検査部門長（NHO 信州上田医療センター）
白倉 聡 生理検査部門員（NHO 渋川医療センター）

2) 国臨協関信支部主催研修会について

(1) 令和 4 年度国臨協関信支部主催 第 3 回研修会

開催日：令和 5 年 2 月 28 日（火）～令和 5 年 3 月 27 日（月）

テーマ：「検体検査における結果報告のポイントおよび精度管理の基礎を学ぶ」

演題 1「その結果、医師に説明できますか？」

講 師：秋江 健太 検体検査部門員（国立がん研究センター東病院）

3) 学術委員会（部門ごと）主催の技術研修会

例年、学術委員会各部門主催の実技研修会を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、令和 4 年度の開催を見送った。

4) 支部ニュース「身に付けよう覚えよう検査技術」への投稿

会員に対する「学術と技術の向上」を図ることを目的として、学術委員会として国臨協関信支部ニュースの「身に付けよう覚えよう検査技術」に学術情報の提供を行う為に投稿を行った。

(1) 第 230 号（令和 4 年 11 月発行）

執筆者：池上 陽太 病理検査部門長（国立成育医療研究センター）

テーマ：「適切な知識・対処法を覚え、自信をもって最良の標本を作製しよう」

(2) 第 232 号（令和 5 年 4 月発行）

執筆者：秋江 健太 検体検査部門員（国立がん研究センター東病院）

テーマ：「急性腎障害とバイオマーカー」

5) 支部ニュース「Case Study」の監修

新型コロナウイルス感染拡大の影響により研修会開催が困難な状況を鑑み、会員への学術支援の一助として支部ニュース第 222 号より「Case Study」が収載され、設問および関信支部 HP 掲載用の回答・解説について監修を行った。

(1) 第 229 号（令和 4 年 8 月発行）

テーマ：「True or False～採血編～」

監 修：松林 秀弥 検体部門委員（国立がん研究センター中央病院）

(2) 第 231 号（令和 5 年 1 月発行）

テーマ：「HE 染色におけるアーチファクトの原因を考える」

監 修：池上 陽太 病理検査部門長（国立成育医療研究センター）

6) Q&A 対応（ルーチンアドバイス）

会員からの検査時の問題点や疑問点に対して相談に対して援助を行うため、ルーチンアドバイス事業（Q&A）を行っている。例年「Q&A 入力用紙」（Excel）にて質問事項を受理し、各検査部門長が中心となり回答内容作成し、迅速な対応を行っている。

回答内容は、国臨協関信支部HP：会員専用ページの学術委員会・ルーチンアドバイス事業欄（<https://kanshinshibu.org>）に掲載を行い、会員に対して情報提供に努めている。

(1) 国臨協関信支部千葉地区会 会員 質問領域（病理検査部門）

質問内容「HE 染色のアーチファクトについて」

受付日：令和 5 年 3 月 24 日（金）

対応日：令和 5 年 4 月 14 日（金）

対応者：池上 陽太 病理検査部門長（国立成育医療研究センター）